

知識の刷新

ハーバード大学ケネディ行政大学院

山沖 真理愛

YAMAOKI Maria

平成 29年 4月 総務省採用
自治行政局地域政策課

平成 29年 8月 茨城県総務部財政課

平成 31年 4月 厚生労働省労働基準局監督課

令和 3年 4月 総務省自治税務局固定資産税課

令和 3年 7月 同 自治税務局固定資産税課土地税制係長

令和 4年 4月 同 大臣官房企画課主査

令和 5年 7月 現職



豚骨ラーメン23ドル50セント

日本円で約3,000円がラーメン一杯の値段。豚骨の薄いスープに伸びた麺を吸いながらクラスメイトのインド人Pruthaが言う「これってベジタリアンよね？」もちろん答えはノー。ここは世界の知性が集まる場所、ボストンはマサチューセッツ。私はいま公共政策を学ぶためハーバード・ケネディ・スクールに通っています。

正義≠正しい

国家公務員は法律を作ることができる唯一の仕事です。中でも総務省の良さは、全員が違う武器を備え、それを活用できる場面が用意されているところ。全員が異なるキャリアパスを歩むのです。振り返ると、私の場合、総務省では地方自治体の自主財源である固定資産税を担当し、いろんな場面における情報の扱われ方について考える機会を得ました。出向先の茨城県では教育や国体から県債関連の予算まで、厚生労働省では労働政策に関わりました。どの場面でも、それぞれの「正しい」に向けて調整していくことが求められました。

ただし、自分が「正しい」と思ったことが必ずしも

「正義」とは限らず、「正義」はもちろん場面に応じて異なってきます。そもそも何が「正しい」かを判断するに足る知識が不足していると感じるようになりました。でも立ち止まって知識を刷新し、政策を見つめ直す時間が足りませんでした。

ボストンに留学する醍醐味

それは各分野の第一人者である教授の下で、経済開発、人種や政治、制度のダイナミクス(変遷)に焦点を当てて考える、衰退しつつある都市の生き残り戦略とは何かなど、さまざまな国・自治体における実在ケースを基に、多様なバックグラウンドをもった生徒たちがそれぞれの事例の「正しい」は何を意味しているのかを議論する機会を得られることです。「正しい」は人によっても、時世によっても変わります。そのため、可能な限り、全員が納得する「正しい」を導き出せるように知識を刷新することが大事です。

日本は将来に対して過剰に悲観的であるように思います。しかし、世界の中で日本は、少子高齢化や地域活性化などの分野では“政策的先進国”です。この事実を肯定的に捉え、国外に誇れる政策を生み出していくべきだと考えます。各々が特有の武器を備え、互いに補いながら、日本をさらに一歩進

んだ先進国にしていきたい。このように思ってくれた皆さんと一緒に働けたら光栄です。



Japan Festivalでクラスメイトと



誕生日を祝ってくれた友達たち

霞が関から英国留学へ

これまでの人生にない「世界線」を実現できる場所、それは総務省です。私は入省以来、通信政策の法改正、海外プラットフォーム事業者との利害調整、ICT(情報通信技術)分野における国際交渉などを担当して来ました。その後、霞が関の世界を飛び越え、2023年夏より2年間英国に留学しています。英国留学は自らの情報通信政策の専門性や国際性を高める舞台として、新たな「世界線」が広がっています。留学1年目はロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)、留学2年目はオックスフォード大学にて学び、英国でのダブルマスター取得を目指しています。

舞台はLSEからオックスフォードへ

留学1年目のLSEでは、通信や放送の規制政策、AI政策などの研究を行い、メディア政策修士を取得しました。英国の公共放送BBCや英国通信庁Ofcomを訪問し、現役職員やジャーナリストと議論する機会などもあり、素晴らしい環境のもとでメディア政策を学ぶことができました。留学2年目は、舞台をオックスフォード大学ブラバトニック公共政策大学院に移し、政策立案者としての実践的スキ

ルを磨いています。例えば、交渉学では、国際機関における多国間ルールメイキングをシナリオに、各アクターに有利な交渉結果をどのように導くかを実演します。また、研究機関や政府・国際機関でのインターンシップなど、実務経験の機会もあります。世界中の現職国会議員や大臣、官僚が集まるオックスフォードの環境は、毎日が刺激的であり、カレッジのフォーマルディナーで築いた交友関係も含め、ここで得た世界中のネットワークや経験は何ものにも代え難いと感じています。

次なる世界線

総務省には、海外留学、さらには国際機関や海外大使館という多様なキャリアパスのフィールドが広がっています。国内の情報通信政策を考えたその先で、国際的な利害調整や交渉の世界を経験することができます。そして、海外で高めた情報通信政策の専門性や国際性を、次なる国内政策に還元することができます。私も帰国後は、英国での経験を活かし、総務省の政策立案に貢献できるよう努めます。皆さんが想い描く将来のキャリアパスは何ですか?その「世界線」、総務省で一緒に叶えてみませんか?



LSE卒業式にて



オックスフォード大学入学式にて

世界線 ～英国からのメッセージ～

オックスフォード大学

福田 広樹

FUKUDA Hiroki

平成 31年 4月 総務省採用
総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課

令和 2年 5月 同 行政評価局政策評価課客観性担保評価推進室

令和 3年 6月 同 大臣官房秘書課

令和 4年 7月 同 国際戦略局国際経済課北米係長

令和 5年 9月 英国留学(ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE))

令和 6年 9月 現職

